

平成23年度自主的環境保全活動の取り組み状況

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

環境方針

赤穂発電所に従事するものは、『環境』や『資源の有限性』を常に考える「地球市民」であるとの共通認識を持ち、地域の皆さまとの共生を基本とした事業活動を通じ、環境負荷の低減および省資源・省エネルギーの推進など、地球環境の保全に貢献するため、次の活動を推進していく。

行動指針

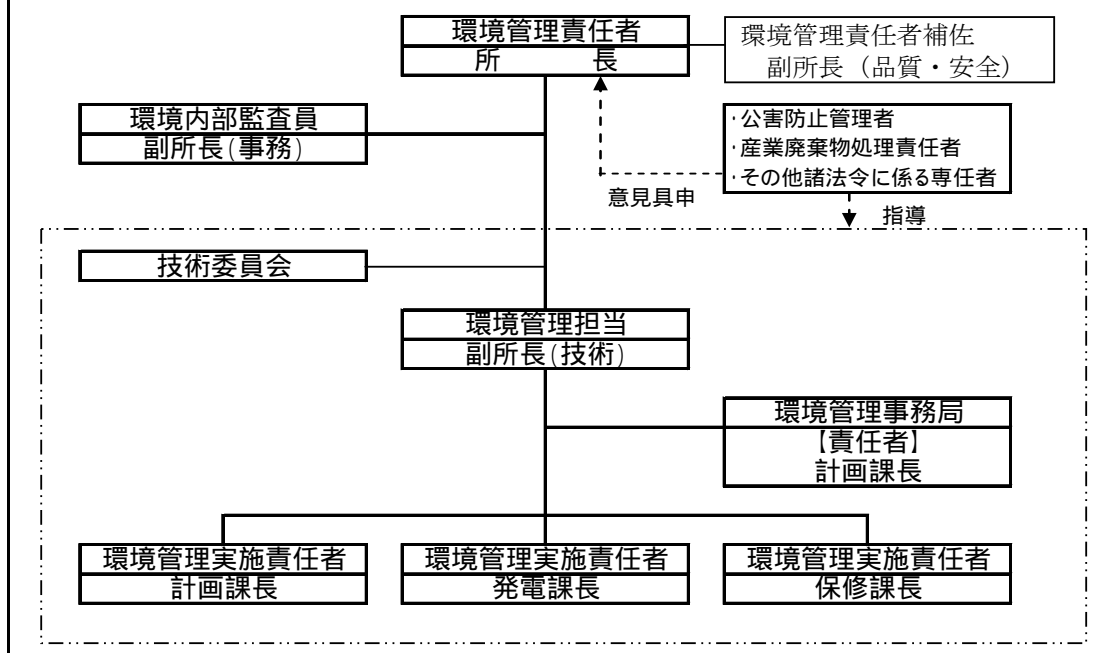
1. 環境方針、環境に関する法規制および関係自治体との協定を順守する。
2. 資源・エネルギーの効率的利用およびリサイクルならびに廃棄物低減を積極的に展開し、環境保全および汚染の予防に徹する。
3. 桜まつりなどのイベントをとおして、地域の方々とのふれあいづくりに努めるとともに、発電所周辺の美化活動に努める。
4. 常に実効のある環境管理活動を維持するため、管理システムの継続的な改善に努める。
5. 本環境方針を赤穂発電所に従事するものへ周知し、意識の高揚と教育訓練等により環境負荷の低減に努める。

環境目的

地球温暖化ガス排出抑制に取り組む。

取組

1-2 環境保全活動に関する組織体制



目標の実施状況

(平成23年度)

取組目標	具体的取組内容	取組結果	今後の取組計画
省エネルギー活動の継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ●蒸気ドレントラップ早期修繕によりエネルギー使用量の削減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆不具合（連続動作）が発生した蒸気ドレントラップ早期修繕により、原油換算値で1.1kL削減 	<ul style="list-style-type: none"> ● 不具合（連続動作）が発生した蒸気ドレントラップ早期修繕による燃料使用量を削減する。（継続実施）
	<ul style="list-style-type: none"> ●低負荷時に補機の減台によりエネルギー使用量の削減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆補機の停止により、原油換算値で25,183.7kL削減 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後は、恒常管理として取組むこととする。
	<ul style="list-style-type: none"> ●2号機 DSS 時の復水器真空破壊運用による補機停止によりエネルギー使用量の削減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆補機の停止により、原油換算値で5,904.1kL削減 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●燃料ポンプ室換気ファン減台運用によりエネルギー使用量の削減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆油種による運転台数を明確化し、減台運転により、原油換算値で75,562.7kL削減 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニット停止時に給水ポンプ主油ポンプ停止運用を確立し、エネルギー使用量の削減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆主油ポンプ停止運用を確立による停止運転により、原油換算値で11,394.9kL削減 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●雑用水ポンプの停止運用を確立し、エネルギー使用量の削減を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆雑用水ポンプ停止運用を確立による停止運転により、原油換算値で51,515.9kL削減 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●補助ボイラの最適運用による省エネルギー 	<p>—————</p>	

取組目標	具体的取組内容	取組結果	今後の取組計画
省エネルギー活動の継続推進	●保守ツール関連機器の電源切りによりエネルギー使用量の削減を図った。	◆関連機器の電源切りにより、原油換算値で 390.7kL 削減	●今後は、恒常管理として取組むこととする。
安心され、信頼される環境先端企業を目指した取り組み	●環境家計簿の普及促進することで環境意識の高揚を図る。	◆環境家計簿の慫慂を行った。	●継続して環境家計簿の慫慂に取り組む。(継続実施)
廃棄物3Rの推進	●廃棄物の再資源化率目標の 95% 以上に取り組んだ。	◆金属屑、ガラス陶器屑、廃プラ、廃アルカリ、汚泥(石膏屑)の再資源化により、再資源化率ほぼ 100% ◆ばいじん、燃え殻、排水汚泥、副生石膏などを含めると再資源化率ほぼ 100% 達成	●継続して廃棄物3R推進に取り組む。(継続実施)
事務所電気使用量の削減	●事務所の不要照明の消灯による消費電力削減。(昼休み) ●夏季(7/1~9/22)の節電対策として、昼間空調停止およびエレベータの部分停止等による消費電力削減。	◆消費電力削減量 2.04MWh /年 ◆消費電力削減量 0.25MWh /年	●継続して事務所電気使用量の削減に取り組む。
用紙購入量の削減	●電子メールの活用、および片面使用済み回収ボックスを設置し、裏面の活用等により用紙購入量の削減に取り組んだ。	◆23年度実績では、 4,532kg であり対前年比： 35.7% (1,192kg)増となった。	●前年度実績を踏まえ継続して取り組む。
燃費向上対策の推進	●アイドリングストップ運動の推進 ●ワンボックス車を採用し利用者数に合わせて車両運行の効率化に取り組んだ。	◆23年度実績の車両燃費は、 5.21km/L で22年度実績の 5.43km/L を若干下回った。	●継続して、車両運行の効率化とアイドリングストップ運動を推進する。

取組目標	具体的取組内容	取組結果	今後の取組計画
オフィス用品のグリーン購入率の向上	●購入手続き時のエコチェックおよび契約時グリーン購入法適合商品の選定に取り組んだ。	◆平成 23 年度のオフィス用品のグリーン購入率 100%であった。	●継続して、グリーン購入法適合商品を購入する。